



聖隷佐倉市民病院 整形外科

岸田俊二

のぞみ会千葉支部が今年で10周年をお迎えされましたこと、誠におめでとうございます。変形性股関節症はその病期や年齢によって治療の仕方が変わっていきます。また症状は通常ゆっくり進行するので年余に渡る闘病生活が続きます。

時間があるだけにまた、治療方法がたくさんあるために、色々な情報で迷うことも多いと思います。のぞみ会の開設目的に正しい知識の普及と患者相互の交流を掲げてらっしゃるのはこういった疾患背景があるためと思います。

今でこそ我々医療機関がホームページや市民公開講座で知識啓発を行うことが一般的になっています。しかしながら10年前を顧みると外来でのインフォームドコンセントは一般的になっていましたが病院外に情報を発信するといった意識はまだなかったと思います。治療方法や手術の仕方もこの10年でだいぶ様変わりしました。のぞみ会千葉支部が歩んだ10年は医療の進歩も著しい10年だったと思います。我々医師が得た知識や経験を患者の皆様にも正しく理解していただき、「障害をかかえながらも“のぞみ”をもって生きていくこと」（のぞみ会ホームページトップページより）に寄り添える医療を目指していきます。

これからも、同じ病気を持つ患者様同士が暖かく交流出来る場を提供下さい。微力ながら協力させていただきます。